

「生きる力」を子どもたちに ～フューチャースクール2年目の挑戦～

H23.7.15

校長 堀 達司

暑い夏を迎え、子どもたちは汗をかきながらがんばっています。

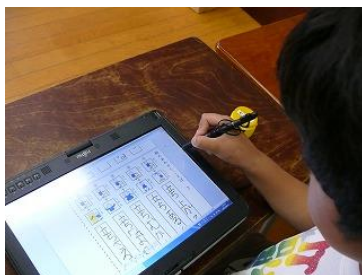
昨年度から始まったフューチャースクールも2年目を迎え、少しずつその効果があらわれはじめました。

どのような効果があらわれてきたのかを少し紹介したいと思います。

まず、フラッシュカードです。これは、写真のフラッシュのように50インチの電子黒板に次々と問題が現れます。



低学年では「 $3 + 4 =$ 」「 $7 - 3 =$ 」などの計算問題やひらがなや漢字などの問題が映し出されます。子どもたちは、大きな声で解答していきます。時には、順番に答える場合もあります。たった2分か3分のわずかな時間ですが、学級全体が集中して問題に向かう緊張感に包まれます。みんなしっかり答えることができたなら担任の先生からほめてもらえます。



上の学年では、ローマ字や理科や社会などの問題もあり、基礎学力の向上に役立っています。

つぎは、タブレットパソコンの活用です。昨年度は使い慣れるために時間がかかりました。普段、ゲームなどでキーの操作になれている子どもたちでもパソコンの操作となると難しかったと思います。しかし、液晶世代の子どもたちです。思ったより早く習熟でき、操作が早くなりました。

自分の考えをタブレット画面にペンで書き、それを電子黒板に映して発表するスタイルが多くの授業で見られるようになりました。前に出て得意に発表する姿を見るとすばらしく思います。大人でも難しいプレゼンテーションをこの時期から取り組めることもフューチャースクールならではの効果だと思います。

「生きる力を育む」そのことを最も大切にして教育をしています。未来を拓き、たくましく生きるために必要な力を考えると、パソコンをはじめとした情報機器を扱えることは大変大切なことだと感じています。



効果はまだまだ多くあります。これから、フューチャースクールの取り組みを校長の目で紹介していきます。

9月の参観・学級懇談会で保護者の皆様にも「タブレットパソコン体験」の時間をとりますので楽しみにいただければ幸いです。